

議 案 第 97 号

松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定  
について

松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

令和6年2月22日提出

松戸市長 本郷谷 健 次

提 案 理 由

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額を引き上げるため。

松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

松戸市消防団員等公務災害補償条例（昭和43年松戸市条例第33号）の一部を次のように改正する。  
次の表中下線の表示部分（以下改正前欄にあっては「改正前部分」と、改正後欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分の文言を削る。
- (3) 改正後欄に「（削除）」と存在するときは、それに対応する改正前部分の目次、章、条、項、号等の全てを削る。
- (4) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改 正 前	改 正 後														
<p>（補償基礎額）</p> <p>第5条 （略）</p> <p>2 前項の補償基礎額は、次に定めるところによる。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 消防作業従事者、救急業務協力者、水防作業従事者及び応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となつた場合には、<u>8,900円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、14,200円を超えない範囲内において、これを増額した額とすることができる。</p> <p>3～6 （略）</p> <p>別表</p> <p style="text-align: center;">補償基礎額表（第5条関係）</p> <p style="text-align: right;">（単位 円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">階級</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">勤務年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10年未満</td> <td style="text-align: center;">10年以上 20年未満</td> <td style="text-align: center;">20年 以上</td> </tr> </tbody> </table>	階級	勤務年数			10年未満	10年以上 20年未満	20年 以上	<p>（補償基礎額）</p> <p>第5条 （略）</p> <p>2 前項の補償基礎額は、次に定めるところによる。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 消防作業従事者、救急業務協力者、水防作業従事者及び応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となつた場合には、<u>9,100円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、14,200円を超えない範囲内において、これを増額した額とすることができる。</p> <p>3～6 （略）</p> <p>別表</p> <p style="text-align: center;">補償基礎額表（第5条関係）</p> <p style="text-align: right;">（単位 円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">階級</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">勤務年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10年未満</td> <td style="text-align: center;">10年以上 20年未満</td> <td style="text-align: center;">20年 以上</td> </tr> </tbody> </table>	階級	勤務年数			10年未満	10年以上 20年未満	20年 以上
階級		勤務年数													
	10年未満	10年以上 20年未満	20年 以上												
階級	勤務年数														
	10年未満	10年以上 20年未満	20年 以上												

団長及び副団長	12,440	13,320	14,200	団長及び副団長	12,500	13,350	14,200
分団長及び副分団長	10,670	11,550	12,440	分団長及び副分団長	10,800	11,650	12,500
部長、班長及び団員	8,900	9,790	10,670	部長、班長及び団員	9,100	9,950	10,800
備考 (略)				備考 (略)			

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の松戸市消防団員等公務災害補償条例第5条第2項及び別表の規定は、この条例の施行の日以後に支給すべき事由の生じた松戸市消防団員等公務災害補償条例第5条第1項に規定する損害補償（以下「損害補償」という。）並びに同日前に支給すべき事由の生じた同日以後の期間に係る同条例第4条第3号に規定する傷病補償年金、同条第4号アに規定する障害補償年金及び同条第6号アに規定する遺族補償年金（以下「傷病補償年金等」という。）について適用し、同日前に支給すべき事由の生じた損害補償（傷病補償年金等を除く。）及び同日前に支給すべき事由の生じた同日前の期間に係る傷病補償年金等については、なお従前の例による。